

12月の果実の見通し

令和元年11月30日現在
山形県東京事務所

品目	区分	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
			前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
りんご類		青森 長野 山形 ほか	6536	90%	6821	307	高い～平 年並み	304	704	10.8%	11月中旬には各地の「サンふじ」が出揃った。長野県産は夜温が高いことから着色・熟度が進まず、台風被害により当初より数量減少の見込み。数量は前年を下回るが、玉流れは36玉～32玉と順調。青森県産は生育順調だが、玉伸びがやや鈍く、36玉～40玉とやや小玉傾向のため、出荷量は前年を下回る見込み。りんご類全体では数量少ないなか、台風被害等で下位等級品の比率は前年より高く、上位等級の引き合いが強まる見込み。
西洋なし類		山形 新潟 ほか	460	105%	652	432	安い～平 年並み	396	344	74.8%	「ラ・フランス」の出荷量は、肥大状況が良かったために前年並みだが、下位等級品目も含まれる。販売は12月中下旬で終了。新潟県産「ル・レクチェ」は、台風被害があったものの順調な生育で、販売は昨年より早い11月21日から始まっている。出荷ピークは12月から、大玉傾向で推移する。
かき類		福岡 奈良 ほか	1672	105%	2468	333	安い～平 年並み	304	42	2.5%	「たねなし柿」は11月で終了し、12月は甘柿中心になる。「富有柿」は着色遅れのため、露地物は上旬まで続く。12日以降は袋掛け中心に切り替わるが、期間が短いため出荷量自体も少ない。冷蔵物は福岡県産・岐阜県産ともに例年どおり12月中下旬から始まる見込みだが、着色遅れのため増量ペースは緩やか。
干し柿		山梨 長野 福島	567	95%	551	2010	平年並み	2105	37.0	6.5%	生柿の着色が遅れているため、皮むき作業が若干遅れている。山梨県産「枯露柿」の出荷量は前年より少ない。富山県産、福島県産は前年並み。長野県産「市田柿」の出荷量は前年以上が見込まれる。出荷ピークは（乾燥の状況によるが）前年に比べて遅くなる見込み。
みかん類		愛媛 長崎 熊本 ほか	32464	110%	32068	304	安い～平 年並み	289	-	-	天候が良く気温が高いため着色が遅れており、出荷ピークは例年より遅い。前年は台風の影響で12月の出荷量が少なく、販売は堅調であったが、今年は一部に気象災害があるものの、前年より多いため価格は弱めの展開が予想される。食味は、早生になって糖度、酸度のバランスが良くなっており、中生種以降も期待される。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)